

相楽地区ふるさと市町村圏シンポジウム

広域観光を活かしたまちづくり

木津川流域・相楽を考える



木津川 / 写真提供 (社) 木津川市観光協会

日 時 : 平成 24 年 2 月 26 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 30

場 所 : 相楽会館 大ホール

主 催 : ふるさと相楽 21

相楽郡広域事務組合 (木津川市・笠置町・和束町・精華町・南山城村)

協 賛 : 社団法人木津川市観光協会・笠置町観光協会

プログラム

13:00 開 場

13:30 開 会

主催者挨拶

ふるさと相楽21 会長 船越 昇

相楽郡広域事務組合 代表理事（精華町長） 木村 要

13:40 基調講演

演 題 「木津川流域における連携を考える」

講 師 奈良県立大学地域創造学部

講師 古山 周太郎（こやましゅうたろう）氏

14:25 事例発表

- ・「鹿背山の柿を育てるネットワーク」(木津川市)
- ・「フジタカヌー」(笠置町)
- ・「農業生産法人華やぎ観光農園株式会社」(精華町)

15:25 <休 憩> 会場準備

15:35 パネルディスカッション

コーディネーター

奈良県立大学地域創造学部 講師 古山 周太郎 氏

パネリスト

- ・鹿背山の柿を育てるネットワーク 会長 松岡 幸男 氏
- ・フジタカヌー 藤田 清 氏
- ・農業生産法人華やぎ観光農園株式会社 倉田 秀雄 氏
- ・社団法人木津川市観光協会 理事長 坂本 利正
(ふるさと相楽21 評議員)
- ・相楽郡広域事務組合 代表理事 木村 要 (精華町長)

16:30 閉 会

基 調 講 演

奈良県立大学地域創造学部

講師 古山 周太郎（こやま しゅうたろう）氏

【プロフィール】

1974 年生まれ

東京工業大学工学部社会工学科卒業、東京工業大学情報理工学研究科
博士課程修了 博士（工学）、日本学術振興会特別研究員などを経て、
2008 年より現職

専 門：コミュニティデザイン、都市計画

所属学会：都市計画学会、建築学会

論 文：「中山間地域における人的支援の実態とその役割に関する
研究」都市計画論文集（46），pp901～906，2011 年
など

地域活動、委員等

東洋大学福祉社会開発研究センター 客員研究員

奈良市学校規模適正化検討委員会 委員

桜井市景観計画策定委員会 委員

曾爾村集落活性化事業 アドバイザー など

事例発表

発表者

鹿背山の柿を育てるネットワーク

会長 松岡 幸男（まつおか ゆきお）氏

【プロフィール】

兄の戦死のため 18 歳で農を継ぎ現在に至る。83 歳。

旧木津町緑化友の会会長（平成 8 年から平成 12 年まで）

日本俳人協会会員、鹿火屋俳句会会員

詞集「風のうた」を創作

【活動内容】

木津川市のほぼ中央の里山・鹿背山に、平成 15 年 7 月「鹿背山の柿を育てるネットワーク」を立ち上げました。面積は約 1 万平方メートルで、柿 800 本、みかん 200 本、合計 1,000 本の樹園地です。

会員は、現在 73 名のボランティアにより、冬期は、剪定を始め、摘蕾、摘果、肥料やりを全員で行っており、草刈や薬剤散布など 8 月まで作業が続きます。

収穫は、9 月初めより、西村早生、10 月中旬より富有柿で、販売は、西村柿は、京印市場と一部直売所にて行っており、富有柿は、山田川、城陽市の 2 か所で行っています。

直売所の人気は、美味しい柿、安い、それに「おまけ」もいただけるということで、好評であり、会員もますます柿づくりに力が入ります。

ボランティアですが、会員には諸経費を差引いての少々のお小遣い程度の分配金を支払っています。

将来は、木津川市とタイアップしての果樹観光公園を目指し、市民の憩いの場になることを夢見ています。



発表者

フジタカヌー

藤田 清(ふじた きよし)氏

【プロフィール、活動内容】

日本カヌー普及協会 事務局長、1930年、京都生まれ。

旧制中学4年の時、遠足で比叡山に登ったとき、果てしなく広がる琵琶湖を見て、「よーし！これからは、こっちで遊んでやるッ！」と決めてヨット遊びを始めました。しかし、ヨットは風がないと走りません。そこで、モーターボートに変えて遊びました。

そんな時、京都大学の高木公三郎教授に「ちょっと来ませんか」と誘われて、カヌー遊びを教えてくださいました。カヌーは最初の一漕ぎから、大自然の中にもぐり込んでいくようでした。「先生、この舟やったら、急流下りができる。急流下りに連れてってください！」とせがんで連れてもらったのが、木津川の笠置の下流でした。ここから下流は急流といっても一級、つまり初心者クラスの急流です。でもシブキを浴びながら下るのは、とても楽しくて、何度も通いました。少し慣れた頃、気を許した瞬間、ひっくり返ってしまいました。初めての転覆なので、あわててもがきながら流されました。その時耳に聞こえてきたのは「サラサラ……」というかすかな砂の流れる音でした。それは、大自然の中へもぐり込んだという感動でした。今でも目をつむると、その時の音が聞こえてきます。



そして、もう一つ、、、先生の造られた舟とは知らずに、その折たたみカヌーを「造りがチャチヤ」とけなしてしまいました。先生は、「それならあんた造ってごらん！」と言われました。しかし、先生のより良いものを…と思うとかえってなかなかできません。

そんなことで、5年、いや10年が過ぎ、ようやく「これなら」という品物ができたとき、メーカーから「先生の舟を造って売り出したい」と言ってきました。先生は、「これを持って行きなさい。」と言われたことから、私のカヌー造りが始まりました。

そして、一流会社を4社いや5社遍歴したうえで、自分で会社を興してカヌーを造ることになりました。

カヤックの基本操作と約6kmのツーリングを体験できる、カヌースクールを開催しています。ゲレンデは流れの穏やかな木津川中流域(笠置町)

発表者

農業生産法人 華やぎ観光農園 株式会社
倉田 秀雄（くらた ひでお）氏

【プロフィール】

- ・ 場所：精華町下狛鐘付田 3 1
- ・ 設立：平成 2 2 年 9 月（法人化）
当初の設立は平成 1 5 年 4 月
従業員 1 2 名 平均年齢 6 9 歳

【活動内容】

一年を通して、農業を通じた観光する事が出来る団体です。

当初は、地区の不作付田（遊休農地）を減らしていこうという取り組みから地域で活動が始まり、平成 2 2 年には、法人化に至りました。

栽培面積は、イチゴ	3,300 m ²	すいか	1,500 m ²
黒大豆	8,000 m ²	さつまいも	2,500 m ²

イチゴ狩り、すいか・黒大豆のオーナー制、黒大豆枝豆狩り、さつまいも掘りなどの農業収穫体験を行うことが出来ます。

イチゴ狩りは、従来の栽培方法と違い、高設栽培という方法を取り入れ、子どもや車椅子の方でも利用しやすい形となっています。イチゴ狩りだけで、年間約 1 万人の観光客があります。

また、イチゴ、黒大豆を学校給食に提供し、地産地消の活動も行っています。

現在は、駐車場の問題（大型バスが入れない）などがありますが、周辺整備を行い、インターネット等の活用を行って、より観光客を増やし、農業の活性化につなげていきたいと思い、活動しています。



パネルディスカッション

コーディネーター

奈良県立大学地域創造学部 講師 古山 周太郎 氏

パネリスト

鹿背山の柿を育てるネットワーク 会長 松岡 幸男 氏

フジタカヌー 藤田 清 氏

農業生産法人 華やぎ観光農園 株式会社 倉田 秀雄 氏

社団法人木津川市観光協会 理事長 坂本 利正（ふるさと相楽21評議員）

相楽郡広域事務組合 代表理事 木村 要（精華町長）



みんなで作る

人と文化の交差点

相楽

協働

連携

協調

交流